



☆☆ニュースレター☆☆

第105号
発行日:2012. 12. 17
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している正会員および賛助会員ほか当団体が了承した希望者に、随時配信しております。配信中止を希望のかたは右記までご連絡ください。

NPO 法人・クライネスサービス

会長: 稲垣 正彦

発行責任者: 事務局長・眞柳 和俊

千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2

np0-kleines-463@catv296.ne.jp

TEL/FAX: 043-463-1337

<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>

◎佐倉警察署年末年始特別警戒出動式: 12月10日(月)中央公民館駐車場において開催され、当会からは7名が青色回転灯パトロール車で会場に到着、式典に参加しました。警察署長に続き管内2市長1町長(佐倉・四街道・酒々井)、来賓の挨拶で式典を終えたあとは、厳しい寒さの中、警察パトロールカー・白バイ部隊、防犯団体のパト車、徒歩部隊が各地に出発しました。



会員寄稿 -25- 「この地区の過去と今思うこと」-岩井透雄-

ここは印旛郡志津村として佐倉市になってからも山林と田畑で住民の大半は、農業で生計を立てていた。春はワラビ取り、夏は子供たちが山林に居るリスを追いかけ、秋は茸取り、冬は猟銃の銃声を遠くに聴きながら燃料にする松や杉の落葉を荷車一杯に集めて庭隅の小屋に収納したりなど。米・麦の栽培は当然の事、大豆や蕎麦の収穫から自家製の味噌や蕎麦を作ったり、正月になれば餅をつくキネの音が朝早くから聞こえてくる自給自足が当たり前の、どこにもある平凡なそしてのどかな農村地帯であった。



娯楽が少ないこの地は雨が降ると集会所に三々五々集まり世間話で気晴らしをしたり、盆と正月は船橋か浅草へ遊びに行ったりするのが最大の楽しみであった。又旅行に行く時は親戚から餞別金があり、そのお返しのお土産も大変な量で今でも千葉県人は旅先でお土産購入に他の県人より多く購入するといわれているが、それは風土が一因かもしれない。

今日では海外に気軽に行くご時世であり隔世の感がある。

暫くすると新たな収入を求めて会社勤めの人が増え、環境の変化が出てきた。通勤の場である県道(現国道 296 号)は未舗装のために雨が降ると悪路となり、志津駅までの通勤に上座からでも 20 分、青菅や先崎には徒歩で 1 時間もかかる日々の生活でありながら、さほど不便を感じなかった。それはこの地に 1 校しかない志津小学校に通学する児童が勝田台駅付近や青菅、先崎及び下志津や上志津から徒歩通学が日課となり歩くことが生活の一部になっていたためである。青菅・先崎の低学年は青菅分校に、上志津方面の低学年は上志津分校(現上志津小)に通学し 4 年生になると志津小学校で志津地区全児童が学んでいた。



終戦直前には、日本本土で米国軍隊との決戦に備えて、志津小学校の講堂に陸軍の兵隊が多く常駐してものものしい警戒が毎日続いていたが、終戦となり上官の人達が敗戦に憤慨して日本刀を振り回すことがあり怖い思いをしたのが今は懐かしい思い出として残っている。

戦後になり、現中学の前身として新制中学校が出来て、志津小学校講堂が中学校となり小生も学ん

でいたが、生徒数の増加で手狭となりその後志津中学校が井野の現在地に新設され今日に至っている。残念ながら小生の卒業後に出来たために利用できなかった。

世の中が落ち着くに従い、新たに住宅建設が始まり、当地区に田畑を住宅地として開発され、ユーカリが丘の地名が誕生し多くの人達が暮らす綺麗な街並みが出来、道路の増設や交通網も改善され便利な街になった。



しかしその反面、環境の急激な変化に伴い犯罪の増加や街の中にゴミ捨てが目立つようになり、有志の人達が環境改善のためにクライネスサービスを立ち上げ活動を開始した。清掃パトロールには大きなビニール袋を1人2枚持参してゴミ拾いすると途中で満杯となり仮集積所に保管しても2枚目も満杯にして集合所に持参してくるために軽トラックでの後処理に苦労していたことが多々あった。現在は多くの住人の理解と協力者の努力により小さな袋でも一杯にならないほどまでに減少した。クライネスサービスの努力が多くの人達に共感を呼び活動が認知された成果の現れだと思えます。



私は常々旧村にも十分な目を向けた対策と実行を願ってきました。パトロールでは旧村を含めて実行されていますが、残念ながら旧村の人達の各種活動参加は少ないのが現実です。

他地区から見ればかなり良好な関係ですが、旧村には隣近所付き合いからの助け合いや区内の行事を大切にした連携が強くあります。そのことを十分に理解せずに新たな施策を街の人達がやろうとしても旧村の理解不足のまま実行するため協力関係が今一步の感ありと思えます。各種活動には賛成ですが、この地には多くの旧村民がいることに希薄な傾向がまだあると感じます。

ユーカリが丘はいろんな面で進んでいるといわれているが、一度立ち止まって後を振り返ることも大切なはず。皆で一度振り返り話し合うことで納得ずくの新たな施策が出来たら旧村からの活動への積極参加が倍増すると思えます。(岩井記 H24.11.25)

～閑話～

ワインが好きですか？

今年の11月15日はフランス産「ボジョレー・ヌヴォー」(試飲用赤ワイン)の解禁日らしい。日付変更線の関係で日本が世界で最初に飲めるということからか、毎年けっこうな話題になります。航空便での輸入が開始されたのは76年といわれ、一時は相当なブームとなったのはご存知のとおりです。

ラジオで知ったのですが、なんでも我が国はこのワインの総輸出量の半分を輸入しているというから驚きです。ちなみに2位は米国。世界一のワイン消費量を誇るフランス人が年間平均52リットル飲むのに比べ日本人はわずか2リットルというのに、どうしてこの新酒はこれほど人気があるのか不思議です。

さっぱりしてフルーティなヌヴォーに限らず普通のワインも、やはり食事のときに好みのグラスに注ぎ、色と香りそれに味を楽しみながらチーズなどと味わうのは好きです。それも旅先で飲むワインはなぜか心を一段と和ませてくれるものです。日常の場所と違う雰囲気とアルコールが成せる技なのか、隣のテーブルでワインを飲んでいる旅人に話しかける勇気も与えてくれます。あなたはワインが好きですか。(小林弘司・H24-11-12 記)



「おくつろぎ 下さいませと 放置され」 (NHK「ぼやき川柳」H24-12-8 放送より)

「立ち上がり 目的忘れ また座る」 (第一生命「サラリーマン川柳」より借用。2012年第8位)